

令和4年度  
J A 共済 第6回ジュニアバレーボールフェスタ  
(各地区対抗6年生選抜大会) in 八重山  
「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う特別措置」

沖縄県小学生バレーボール連盟

1. 事前対策（事前指導及び確認事項の徹底）

- (1) 大会役員及び参加チーム（スタッフ・選手・保護者）は、安全な大会開催のために、沖小連 HP に掲載されている「大会運営ガイドライン」・「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う特別措置」及び「チーム用ガイドライン」を熟読、遵守する。
- (2) 各地区連盟及び各チーム責任者は、参加チームへの事前指導を徹底しておく。
- (3) 大会参加者（大会役員・選手・スタッフ・保護者等）は、沖小連 HP に掲載されている「健康チェックシート」の項目に沿って、大会2週間前から健康状態をチェックし、いずれかの項目に該当する場合は、参加を自粛する。

2. 大会への参加を自粛（禁ずる）する項目

- ①チェックリストに該当する人。
- ②大会当日、37.5度以上の発熱した人。
- ③大会7日前（2月17日）以降に、出停（出席停止）になった児童。  
※学級（学年）閉鎖になった場合は、部活動停止の為、解除されるまでは参加出来ない。
- ④大会7日前（2月17日）以降に感染（陽性）した人。
- ⑤大会5日前（2月20日）以降に濃厚接触者と判断された人。  
※濃厚接触者とみなされる人は、至急PCR検査を受けること。  
※濃厚接触者か否かの判断は、指導者及びチーム責任者が行う。  
※2週間以内に、項目に該当する症状があつて、医師の診察を受けた者で、医師によって、感染症との関わりが無いと診断された者は、その限りではない。
- ⑥2月17日以降試合当日までに、チーム内で感染者（37.5度以上の発熱者、若しくはPCR検査・抗原検査で陽性が判明）が発生した場合、そのチームは、大会参加を自粛するものとする。

### 3. 大会当日

#### (1) 大会運営全般（総務委員会）

- ①朝、体育館に入館するすべての人は、「健康チェックシート」（沖小連HPに掲載）を提出し、検温を行う。検温結果、37.5度以上の方は、館内への入館を禁ずるものとする。
- ②チーム代表者は、受付時に、所属チームの「健康チェックシート」をまとめて、沖小連事務局 OR 総務委員長に提出する。
- ③チーム受付時に、チーム代表者は、チーム全員の検温（検温器はチームで準備）を行い、チーム内に37.5度以上の方が出た場合は、大会参加を辞退することとする。
- ④試合会場（石垣市総合体育館）入り口及び本部席に、アルコール消毒液を準備する。
- ⑤体育館に入館するすべての人は、入館時に、手指のアルコール消毒を行う。  
※尚、各チームについては、チームで担当者を決めて、チームで準備したアルコールで消毒を行う。  
※その後、館内に入出入りするすべての人は、各チームで準備した消毒液で手指を消毒する。
- ⑥入館している間は、全員マスクを着用する。
- ⑦1チーム当たりの体育館への保護者の入館人数を16名以内とする。  
※試合又はセット毎に、ご父母（観戦者）を代えることは可とする。
- ⑧観戦者は、お互いに距離を取って（1メートル以上）観戦し、チーム控場所の席（スペース）及び手すり等の消毒を行い退館する。
- ⑨試合会場の窓及びカーテンは、換気のため終日開放する。
- ⑩チームで昼食をとる際には、向かい合うことなく、可能な限り密を避ける。
- ⑪主会場（石垣市総合体育館）には、2日間にわたり看護師を配置する。

#### (2) 競技上の対策（競技委員会）

- ①セット間のベンチ移動の際には、自分の座った椅子を持って移動する。
- ②試合終了後のベンチは、使用したチームで椅子及びベンチ等の消毒を行う。  
※消毒液及び拭きとる布は、チームで持参する。
- ③当該試合に関わる人（チームスタッフ・選手・審判・線審・スコア係・記録係・当該試合のチームの保護者3名・大会役員 等）以外の人は、入館できないものとする。  
※試合終了後、次の対戦チームとの入れ替えをする。（アナウンスを入れる）

#### (3) 審判上の対策（審判委員会）

- ①主審・副審含め、補助審判（線審・スコア係・記録係）を行うチームは、

試合中、全てマスク着用(不織布マスクを推進)とする。

- ②試合開始前、審判員は、審判台・記録席・得点掲示椅子・ラインフラッグを消毒し、手指の消毒を行う。また、記録用の筆記用具は、チームで準備する。
- ③線審をする際は、ゴム手袋(ビニール可、チームで準備)を着用すること。
- ④対戦中、コート以外の選手は、マスク着用とする。ベンチスタッフは、対戦中はマスクを外してよいが、タイムアウト・プロトコール中は、マスク着用とする。

#### 4. 「熱中症」対策

- (1) 喉が渇いていなくても、こまめに水分補給をし、熱中症対策に努めること。
- (2) 試合に関わらない選手児童は、体育館外の日陰で待機し、時々マスクを外したりするなど、熱中症対策に気を配ること。
- (3) 気分が悪くなったりしたときには、絶対無理をしないで、チームの、または近くの大人に伝えること。
- (4) お互いの様子を注意して見てあげて、様子を変だと思ったら、チームの指導者、または近くの大人に伝えること。

#### 5. 「インフルエンザ感染」について

- (1) 「新型コロナウイルス感染症」同様、日常的に手洗い・うがい等を徹底し、インフルエンザに感染しないよう体調管理には充分気を配ること。
- (2) 咳・喉の痛み・発熱等の症状が出た場合、速やかに医療機関へ受診し、医師及び学校(養護教諭)の指示を遵守すること。
- (3) 基本的には、症状(発熱)が出た日から5日後までは、学校への出停となるため、出場を自粛すること。熱が下がった日の翌々日からは出場可能。

#### 6. 事後対応

- (1) 各チーム責任者は、大会終了後、コロナ感染症の症状が出た場合、速やかに適切な対応をとると共に、各地区代表理事へ状況を報告する。
  - (2) 大会終了後、各地区代表理事は、当該地区のチームの情報を集約する。
  - (3) 各地区代表理事は、当該地区の参加者に、感染者が出た場合には、速やかに、総務委員長(照屋)か、事務局(新里)へ報告すること。
- ※各チーム代表者→各地区大会代表理事(各地区連盟)→沖小連(総務委員長か事務局)→理事長(西俣)→会長(理事会)→県協会

上記の事項を、お互いが遵守し、安全な大会にしましょう!

体調不良・発熱等の症状はあるが、  
受診すべきか分からない、受診方法が分からない場合

**沖縄県新型コロナウイルス感染症相談窓口（コールセンター）**

**TEL 098-866-2129（24時間対応）**

※陽性者と判明した場合は、速やかに所管の保健所へ連絡し、指示を仰ぐ。濃厚接触者は、保健所から連絡があります。

「陽性者」・・・保健所からの指示に従ってください。

「濃厚接触者」・・・速やかにPCR検査あるいは抗原検査を実施する

※尚、陽性者に診断された場合は、速やかに、沖小連事務局及び所属地区連盟へ、必ずその旨連絡を入れる。